

信越理研(株) 殿		発行日: 2017年10月16日	
		整理No: 49F-10-006	
<b>協力工場 不良品連絡書</b>			
協 力 工 場 記 入	再発防止のため対策を記入の上、指定回答日までに原本を提出して下さい。		承認
	指定回答日: 2017年10月27日		調査
			担当
			黒岩 17.10.16 映次
			和田 17.10.16 哲夫
仕様番号 XRMDC5-008S		不良内容	
品名 ハーシグナル(RV756)コネクタヨウ375コンタクト(タンシA)		端子変形 25日までに一報はあてられず、	
金型番号 P5976		(添付写真参照) 25日までに一報はあてられず、	
ロットNo FA170623124-126		で済みません。	
連絡受理日 2017/10/16			
対象数量 2,000個			
協 力 工 場 記 入	1. 確認内容		返却品の処置(数量明記)
	不具合情報より、作業履歴の確認及び不具合現品の確認を行いました。作業履歴には素材時からの層間紙折れのコメントがありましたが具体的に打ち上げ等の処置はなく、巻き替えやその他トラブルのコメントはありませんでした。現品からの調査が主となります。		2017.10.20信越理研引き取りにてリール内検証実施。 数量:2000個
	2. 発生原因		4. 流出原因
	不具合リールの検証結果より、リール外周に対し同じ個所に異常が発生しており、巻取りの際にリールの巾が狭かった部分に端子先端が干渉し周期的に同じ個所に變形が発生したものと判断します。 巻取り時のリール巾を干渉しないよう調整していますが、巾の不均一な箇所があったことが干渉の要因と考えます。		巻取り時に外巻きやその他異常の巻き状態がみられず通常に巻き取られていたため、リール内に異常があることに気が付いていませんでした。
	3. 発生防止対策		5. 流出防止対策
作業ごとにリール巾の調整を行っていますが、製品重量に対し強度が不足、また、繰り返し使用されるリールであるため、テープ止め箇所に製品が干渉します。めっき工程では巻取り前に巾調整治具を追加設置し巻取り時の製品との干渉を防止いたします。強度面ではリールの種類変更についてもご検討いただきたくお願いいたします。		巻き状態確認では当現象の検出は困難であるため、巻取り時のリール干渉が無い事を作業中に監視すること、発生対策の巾調整治具の使用によりリールと製品の干渉防止から流出防止いたします。 今回の不具合事例をワンポイントレッスンにまとめ、関係者に展開し今後の作業時に都度確認し作業いたします。	
実施日: 2017 年 11 月 3 日		実施日: 2017 年 10 月 27 日	
在庫品仕掛品の確認		回答日: 2017 年 10 月 23 日	
在庫品 〇 仕掛品 〇		承認	調査
標準類改訂 有・無 ( )		西村	松本
		黒岩 18.3.22 映次	和田 18.3.21 哲夫
対策後 FA.17-08-09-124-0101-0124 ~ FA.1710.20-1.24 0101-0160 の計 50 個について同不具合無い為 有効性有り判断致し可		承認	調査
		黒岩 18.3.22 映次	和田 18.3.21 哲夫
		黒岩 18.3.22 映次	和田 18.3.21 哲夫